

# 苫小牧CCS実証試験 海底受振ケーブル(OBC)敷設工事について(経済産業省委託事業)

## 1. OBC敷設工事の概要

苫小牧で実施中の二酸化炭素地中貯留(CCS)実証試験では、平成25年7~8月に苫小牧港港湾区域内に3.6kmの海底受振ケーブル(OBC: Ocean Bottom Cable)を敷設する予定です。  
また、敷設後、敷設位置を確認するために二次元弾性波探査を平成25年8月頃、実施する予定です。

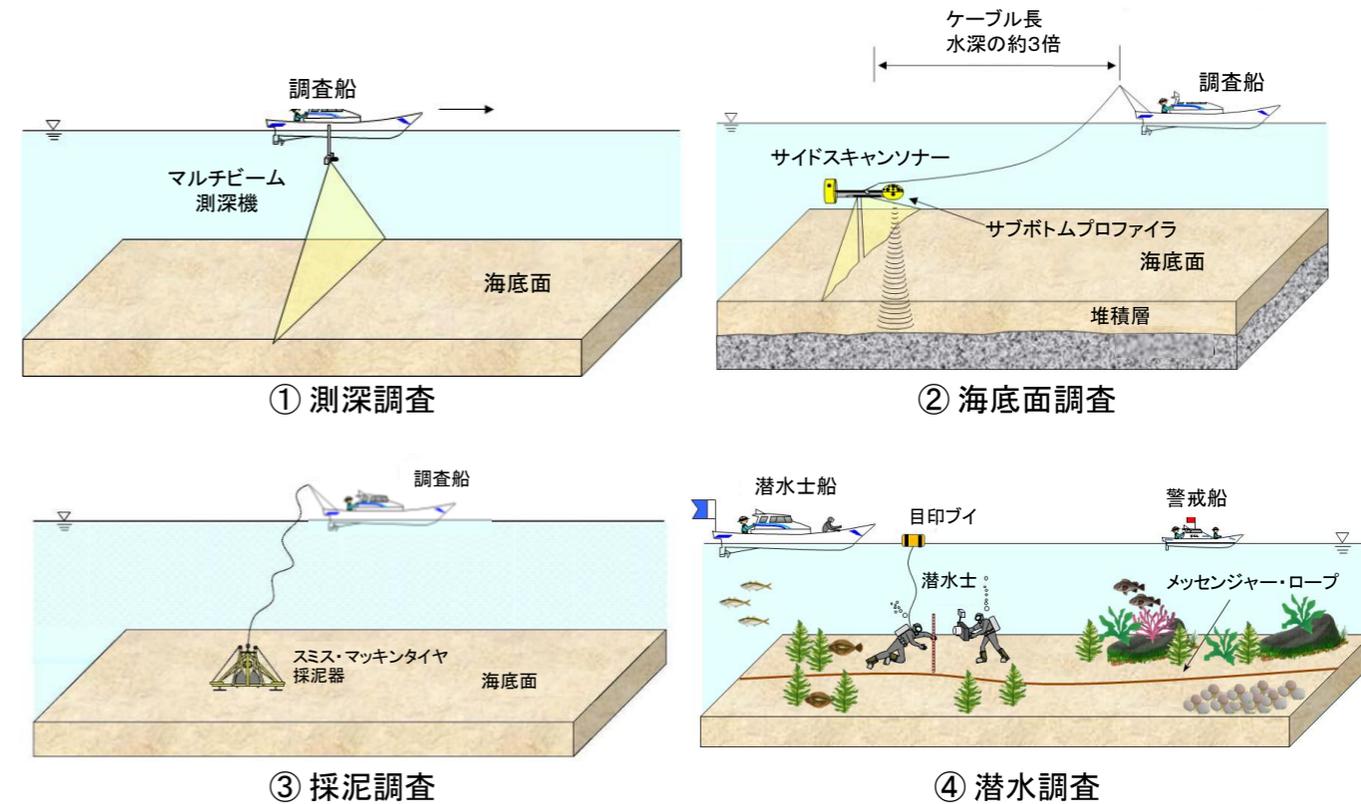


図1 事前ルート調査予定海域

## 2. OBC敷設ルートの事前調査

OBCの敷設に先立ち、敷設ルートの事前調査を平成25年5月8日から実施します。海域での調査は9日間の予定であり、期間中は陸上部でも測量等の調査を行います。事前調査では、OBC敷設ルート周辺の地形、海底面の状況、および障害物の有無などを確認することを目的として、図1の破線で囲まれた海域で、次の4種類の調査を実施します。

- ① 測深調査: 音波によって水深を測定し、海底の地形を確認します。
- ② 海底面調査: 曳航体に搭載したサイドスキャンソナー、サブボトムプロファイラにより、海底面と海底面下数m程度の状況を調べます。
- ③ 採泥調査: 実際に海底面の泥を採取し、海底面の状況を調べます(10箇所程度)。
- ④ 潜水調査: 海岸付近の浅部では、潜水士が直接海底の状況を調べます。



## 3. スケジュール

敷設ルートの事前調査を含むOBC敷設に関するスケジュールは以下の通りです。

作業項目	5月	6月	7月	8月	備考
OBC敷設ルート事前調査					10日間程度
OBC敷設工事(予定)					3週間程度

※作業期間は、天候状態等により延びる場合があります。  
また、OBC敷設工事の実施に際しましては改めてお知らせ致します。

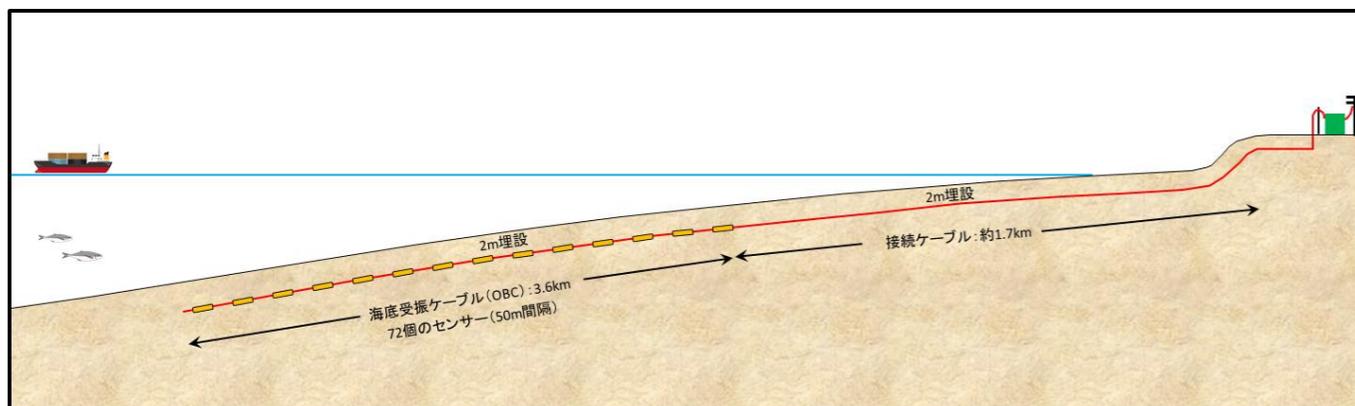


図2 OBC設置完了後の模式断面図